

持株レバレッジ比率の構成に関する開示（三菱UFJフィナンシャル・グループ）

（単位：百万円、％）

国際様式 （表 2） の該当番 号	国際様式 （表 1） の該当番 号	項 目	2020年3月末	2019年12月末
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	282,696,677	272,185,781
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	336,571,379	314,398,868
1b	2	持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額（△）	-	30,031
1c	7	持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額（連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。）	-	-
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額（△）	53,874,701	42,183,055
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額（△）	2,016,649	2,039,857
3		オン・バランス資産の額（イ）	280,680,028	270,145,923
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	5,113,721	4,165,134
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	5,966,020	5,777,081
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	2,202,258	1,960,639
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	51,192	43,316
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額（△）	696,484	679,122
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額（△）		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	3,931,072	3,900,242
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額（△）	3,320,633	3,298,396
11	4	デリバティブ取引等に関する額（ロ）	13,247,147	11,868,896
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	29,651,385	20,530,552
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額（△）	1,887,952	2,218,327
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,138,169	1,837,009
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額（ハ）	29,901,602	20,149,234
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	92,769,789	94,978,416
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額（△）	63,481,008	64,340,362
19	6	オフ・バランス取引に関する額（ニ）	29,288,781	30,638,054
<b>持株レバレッジ比率</b>				
20		資本の額（ホ）	15,623,321	16,760,931
21	8	総エクスポージャーの額（（イ）+（ロ）+（ハ）+（ニ））（ヘ）	353,117,559	332,802,109
22		持株レバレッジ比率（（ホ）/（ヘ））	4.42%	5.03%

※企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の遡及適用により、2019年度期首以降の利益剰余金が変更となりますが、2019年12月末の計数に当該変更は反映していません。

#### 前四半期の持株レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

持株レバレッジ比率の低下は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の減少等に伴う資本の額の減少に加え、現金預け金や有価証券を中心としたオン・バランス資産の増加により、総エクスポージャーの額が増加したことによるもの。